

[アトリエ インカーブのビジョン]

アトリエ インカーブは
知的 障 がいがある方の作品を
現代を生きる人が生み出すアート＝『現代アート』
として発信しています

アトリエ インカーブ（以下：インカーブ）では、知的 障 がいがある方の作品をアール・ブリュット、アウトサイダー・アート、障 害者アート等の名 称 でカテゴライズしません。現代を生きる人が生み出すから「現代アート」。ゆくゆくは、この「現代アート」ということさえ言わずに、彼らの作品が、より広く多くの人々に鑑 賞、議論され、美 術 市 場 で売買されてほしい。それが社会福祉法人としてのインカーブの理想です。



アトリエ インカーブは、社会福祉法人素王会の事 業 本部として2002年9月に大阪市に設立されました。現在、28名の知的 障 がいがある方がアーティストとして所属しています。

インカーブ設立当初、所属アーティストの作品は「障 がい者」ということ抜きにみてもらえませんでした。私 たちは、作品の芸 術 性を問いたく、2005年にニューヨークのギャラリーで発 表 しました。作品は、障 がい者ということを唱わずに鑑 賞、購 入 され、芸 術 性が認められたことを実感しました。

かく言うインカーブも「アール・ブリュット」の英語訳である「アウトサイダー・アート」として発 表 していた時期がありました。歴史的・芸 術 的に 評 価の定まっていないものに対して名 称 を付けることで、作品を 扱 うことに安心感を付与し、日本特有の「障 害者アート」と名付けられることを回避する意図でした。

一方、「アウトサイダー・アート」は、ヒューマンイズムの観 点から「何に対するアウトサイドなのか」と最近欧米で差別的と認識されてきています。インカーブも含む社会福祉法人は、ユニバーサル社会を実現することが責務のひとつであると 考 えます。アール・ブリュット、アウトサイダー・アート等、カテゴライズする名 称 から脱 却 し、障 がいがある人だけに特化した新たなハコモノではなく、既存の美 術 館に作品が 収 蔵されることが、ユニバーサルであるとの思いに現在に至っています。

ニューヨーク近代美 術 館（MoMA）には、アール・ブリュットのアーティストとされるヘンリー・ダーガーなどの作品が 収 蔵され、何の区別もなく展示されています。インカーブでも、所属するアーティストの作品が、障 がいの 注 釈なしに広く多くの人々に鑑 賞、議論、売買されることを望んでいます。

じぎょうてんかい
[アトリエ インカーブの事業展開]

そうぞうせいゆた ちてきしょう かた
創造性豊かな知的 障 がいがある方が
『アーティストとして独立』することを目指します



こくないがい げんだい しゅつてん
国内外の現代アートのアートフェアに出 展
さくひん はんばい しゅうにゅう
作品を販売しアーティストの 収 入 になっています

アトリエ インカーブは、日本最大の美術 見本市「アートフェア東京 2013」に、社会福祉
ほうじん はじ しゅつてん こんご こくないがい しゅつてん しゅつびん
法人として初めて 出 展しました。今後も国内外のアートフェアに出 展・出 品し、アーティ
しゅうにゅうかく ほ つと
ストの 収 入 確保に努めます。

また、平成21年度よりインカーブのクリエイティブディレクター今中博之が「大阪府アート
い しょう しや しゅうろうしえん じぎょう きかく ぶかい い か ふ きかく ぶかい ふく いんちやうとう つと
を活かした 障 がい者の就 労支援事業 企画部会（以下：府企画部会）」副委員長 等を務め、
そうぞうせいゆた ちてきしょう かた どりつ ていげん おこな
創造性豊かな知的 障 がいがある方が、アーティストとして独立するための提言を行 ってい
ます。



ふ きかく ぶかい ていげん おおさか ふ おおさか げんだい せ かい かがや しんせいはくつ
府企画部会の提言をもとに、大阪府が「大阪府現代アートの世界に 輝 く新星発掘プロジ
こ う ぼ にゅうせんさくひんてん かいさい たてはたあきらし きやう と しりつげいじゅつだいがくがくちやう
ェクト2012公募 入 選作品展」を開催しました。建 昌 哲 氏（京 都市立芸 術 大学学 長）、
あきもとゆう じ し かなざわ せい き び じゅつかんかんちやう みなみしまひろし じょ し び じゅつだいがくきやうじゅ おおさか ふ か
秋元雄史氏（金 沢 21世紀美 術 館館 長）、南 鳥 宏 氏（女子美 術 大学 教 授）が、大阪府下
あつ しやう かた さくひんやく てん さくひんしん さ おこな さいゆうしゅうしやう
から集まった、 障 がいがある方による作品約720点の作品審査を行 い、最優 秀 賞 はじめ
かくしやう けつてい じゅしやうさくひん てんらんかい おおさか ふ げんだい び じゅつ かいさい
各 賞 を決定。受 賞 作品による展覧会が大阪府立現代美 術 センターで開催されました。そ
とき ずろく かんせい おうこく かんぜん じゆう こと ば しやうかい
の時の図録『感性の王国－完全なる自由へー』からの言葉をご紹介します。

たし しやう こと ば しんちやう あゆ よ もと しやう さまざま
◎『確かに「障 がい」という言葉には慎 重 な歩み寄りが求められます。「障 がい」には様々
なケースがあり、それをひとつの響きの中に押し込もうとするには相当の無理があるからで
す。そして、そもそもこの「障 がい者」という言葉が、世界のどこにも存在しない、幻想
としての「健 常 者」と対をなすように想定されたものでありながら、（ありもしない）健 常
とされる世界の美 術 を、これまでただの一度も「障 がいのない者のアート」などという呼
び方をしたことがなかったことを思い出すにつけ、この「障 がい」という響きの中に内包
されてきた未整理の意図について、私 たちは 改 めて慎 重 にして本質的な関わりを模索し
なければならないと思われるのです。』

じょ し び じゅつだいがくきやうじゅ みなみしまひろし
ー女子美 術 大学 教 授 南 鳥 宏

しやう かた せいさく そうぞうせいゆた げいじゅつせい たか さくひん げんだい ひやう
◎『障 がいのある方が制作された創造性豊かな芸 術 性の高い作品を現代アートとして 評
か みち ひら とりく おおさか ふ ち じ まつ いちろう
価し、アーティストへの道を拓いていこうとする取組みです。』ー大阪府知事 松井一郎

課題

①

カテゴライズ（分類）から

インテグレーション（統合）へ

アール・ブリュットのアーティストとされるヘンリー・ダーガーやビル・トレイラーなどは、ニューヨーク近代美術館（MoMA）に、何の 카테고리 分けもなく展示・收藏されています（*下記 URL 参照）。2012 年には、MoMA の隣に位置し、アール・ブリュット作品を含むフォーク・アート専門に扱う「フォークアート・ミュージアム」が閉館しました。現在日本には、「現代美術」と名のつく、公費によって運営されている美術館が10ヶ所を超えます。アール・ブリュットに限定せず、現代アートを扱うこれらの既存の美術館を中心に、作品を分け隔てなく調査・收藏・保管・展示することをめざし、学芸員に理解を広げ、そのための予算を投入することが必要ではないでしょうか。

（* 参考 URL）ヘンリー・ダーガー http://www.moma.org/collection/artist.php?artist_id=28600

ビル・トレイラー http://www.moma.org/collection/artist.php?artist_id=7464

②

福祉現場に

アート・デザインに長けた人材を

知的に障がいがある方によって作られたものは、作品としてその価値が見いだされないまま、廃棄されることも少なくありません。作品が散在、廃棄されることを防ぐためには、福祉現場（施設や居宅介護）のスタッフが、それらに美術的価値を認め、保管・発信していかなければなりません。現在の福祉現場のスタッフは、アート・デザインについて学んだ経験もなく、日常生活を介護・支援することに手一杯になっています。福祉とアート・デザインの両輪を備えた優秀なスタッフを育成し、福祉現場の仕事に魅力を感ぜてもらうことが急がれます。具体策として、美大・芸大の学生への興味喚起として講演会やインターンシップを行う、福祉現場スタッフにアート・デザインを学ぶ機会を提供する、などが考えられます。

[組織図]

